

(H28年4月)



【写真提供：置賜総合支庁産業経済部西置賜農村整備課】

上記の写真は、農村災害対策整備事業「添川・椿地区」で整備された排水路です。この地区は、周辺の開発整備により、地区内に流入する排水量が増加し、周辺の宅地や農地などに**溢水被害が多発**する状況となっていました。

このため、溢水被害がひどい4本の幹線及び排水路の整備・改修を行う事業として、置賜総合支庁産業経済部西置賜農村整備課が、平成24年度から平成30年度の7年間の工期で整備・改修することになっています。

本排水路の測量調査設計業務は、平成24年度、平成25年度、平成26年度と3カ年にわたり当社が受注しております。排水路の設計にあたっては、国道113号線の横断暗渠や、国営農業水利事業により造成されたサイホン横断など、解決すべき**技術的課題**が多い内容でした。

当社の業務委託の総括責任者は、業務を行った時の感想を次のように話しています。

- 業務委託における技術的課題の解決に向けて汗を流すことは、受注者としては当然のことだと考えています。また、関係機関との協議が円滑に成立したときは、内心はホットしたと同時に**達成感**もあり、**技術者冥利**に尽きるという思いを実感しました。
- また、多発する溢水被害の対策に関しては、災害発生**のリスクを最小限にする**ため、地元関係者や関係機関の方々との現地調査などを一緒に行いながら、溢水の発生個所や発生メカニズムなどの調査分析を行うとともに、**協議を重ねていく**中で、効果的な計画・設計が出来上がったと思っております。
- 本業務が完了にこぎつけたのは、このように、地元関係者や関係機関の方々から**のご指導・ご支援**があったからこそであると思っております。この場をお借りして、改めて、ご協力いただきました関係者の皆様方に深く感謝も申し上げます。

また、この業務委託に対する当社の対応について、発注機関の担当者からは次のようなコメントをいただいております。

- 業務委託に対するケンコンの対応は、申し分なかったと感じている。作業中においては、国道113号線の横断暗渠工や、国営農業水利事業のサイホン横断など技術的課題の解決に向けて**真剣に取り組ん**でもらったし、受益者や地域からの要望についても**真摯に受け止め、誠意をもって取り組ん**でもらったと思っている。
- また、成果品の納品後においても、担当者の変更により生じた疑問、質問に対し、メールなどの**記録に残る方法**で懇切丁寧に説明をしてくれたことに感謝している。

このような高い評価をいただくことができたのは、当社の高い技術力によるものであると考えられます。また、このように評価していただくことは、発注者の信頼確保につながることになり、有形・無形の大きな財産として、会社発展の原動力となるものであると確信しております。

記：Maruyama